

さいたま新都心に一番近い学校



下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 6 年 5 月 号
令和 6 年 4 月 3 0 日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

“心”を感じるあいさつをしよう

校長 小田切 倫子

木々の若葉が緑を増し、さわやかな風が通り抜ける、すがすがしい季節となりました。

令和6年度がスタートして1か月が経ち、子どもたちは新しい生活にも慣れ、生き生きと活動しています。

始業式で、初めて出会った子どもたちに、私から1つ、お願いをしました。そのお願いとは、「あいさつをするとき、目を合わせてくださいね」ということでした。登校時、正門で子どもたちを迎えているのですが、そのことをしっかり覚えていて、ちゃんと意識をしてくれているなど感じる子どもがたくさんいます。目を合わせることに加え、明るい笑顔を見せてくれたり、丁寧に帽子を取ってお辞儀をしてくれたり、「校長先生〜！」と言葉を添えてくれる子どももいて、私は毎朝子どもからたくさんのエネルギーをもらっています。何とも幸せな仕事です。

あいさつの重要性については、改めて言うまでのことはありませんが、私は、あいさつには“あなたを大切に思っています”という“心”を伝えるメッセージが込められていると思っています。「おはようございます」という言葉を交わすことで、コミュニケーションが生まれます。でもそれだけではなく、目を合わせたり、お辞儀をしたり、笑顔で言ったりすることで、“あたたかな心”を感じることができます。そのお互いの“心”を感じ合うことが、とても重要だと考えます。大人も子どもも性格はいろいろですから、元気いっばいな声で「おはようございます！」と言うことが簡単な人もいれば、大きな声を出すことは恥ずかしいんだよな…という人もいることでしょう。また、今日はちょっと気分が落ち込んでいる、そんな日もあります。あいさつは強制するものではありませんが、やはり、いつ、どのような状況であっても、あたたかなあいさつができる人へと成長して欲しい、そう願っています。大きな声ではなくても大丈夫。しっかり目を合わせて、“心”が感じられるあいさつが交わしたら、とても嬉しいです。

家庭や地域の皆様、子どもたちへのあいさつについて、引き続きご指導をよろしく願いいたします。

☆5月1日 さいたま市民の日☆

明日5月1日は、2001年にさいたま市が誕生した日です。さいたま市民の日は、市民の皆さんが、郷土である本市の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくことを期する日として制定されました。